

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2016. 2
No.270

稲垣邦松会長 優秀創業者賞受賞

このたび邦松会長が日刊工業新聞社主催の第33回優秀経営者顕彰「優秀創業者賞」を受賞いたしました。

この制度は、優れた経営手腕により企業を成長させ、日本経済の発展と地域社会に大きく貢献したモノづくり関連の中堅・中小企業経営者を広く顕彰するものです。

《受賞の理由》

一九五一年に創業した後、自動車部品であるトランスミッションの中核部分となる歯車の精密切削加工業者として成長させた。

工場移転新築や年商の二分の一を投入した生産設備投資などを行い、顧客の増産に素早く対応し、信頼を得てきた。

また地域の青少年の創造性開発育成にも大きく貢献してきた。会長となった今もほぼ毎日出社し、社に貢献している。

邦松会長、お身体に気をつけて、お元気で長生きしてください。そして、これからも我々を見守っていただきたいと思えます。邦松会長の創業があつての現在のイナテックがあることに感謝申し上げます。

イナガキ・コスミックギャラリーの個展 100回達成

今回の長谷川先生の作品で、平成2年から始めた個展も100回目を迎えることができました。その時にさせていただいたあいさつを紹介いたします。

深谷工務所の深谷社長様のご紹介で高北先生にお世話になり、また、芸術家の方々に出品

していただいたおかげで100回まで続けられました。

『継続は力なり』と言いますが、26年間開催できたのも皆様のおかげです。今後も芸術・文化の普及と向上に努め、『西尾の南の方に行く』とセンスがいいなあ』と言われるよう、力の続く限りやつていきます。多くのアーティストの方々に思う存分このギャラリーを使って表現していただき、西尾のみなさんに本物の芸術に触られる、そして出会える機会をつくっていきます。

また、高北先生からは「99回までやると、続けていくことの力が湧き、100回を迎え気持ちが良い。今回は100回目にふさわしい作家、長谷川先生にお願いした。街並みの作品に囲まれたこのギャラリーに一人だけいると、誰もがこの描かれた街並みの風景の中にと感じると思う。まさに作家のパワーでギャラリーが埋められた展示になっている。美術王道ともいべき『長谷川先生画展』です。」というお言葉をいただきました。

皆様に感謝です。

『老舗から見た日中企業の差』

イナテック平湖の袁部長から『老舗から見た日中企業の差』という、中国の人が考察した記事について、報告をいただきました。その一部をまとめて紹介いたします。

なぜ多くの中国企業は早く破綻するか。

中国の中小企業の平均寿命は2.5年、グループ企業の平均寿命は7〜8年であるのに対して、欧米企業の平均寿命は40年、日本企業の平均寿命は58年であり、天地の差である。

東京商工研究機構のデータによると、日本には150年を超える企業は2万1666社もある。それに対し、現在中国に150年を超える老舗は、わずか5社しかない。

日本の産業構造を支えているのは、専門性が高く、歴史が長い優良中小企業である。これらの企業は従業員が100名未満の企業が多いが、大企業に高品質の部品や原材料を提供している。また、多くの中小企業は世界市場の特定技術や中間製品のシェアを高く占めている。

日本の企業が長く続く原因はたくさんあるが、まず投資の戦略性が挙げられる。中長期

戦略に基づく投資及び利益の回収を重んじることである。

また日本企業は家族企業であり、社員の利益を重視する。それに対し、欧米では株主利益を重視する。日本企業の利回りは欧米企業ほど高くないが、長く利益を出し続けることは強みである。……(続く)

このように中国企業の人たちも日本企業を研究し始めていることがうかがえます。

三二

嗜寂者、觀白雲幽石而通玄、趨榮者、見清歌妙舞而忘倦。唯自得之士、無喧寂、無榮枯、無往非自適之天。

寂を嗜む者は、白雲幽石を觀て玄に通じ、榮に趨る者は、清歌妙舞を見て倦むを忘る。唯だ自得の士のみは、喧寂なく、榮枯なく、往くとして自適の天にあらざるはなし。

一 白雲幽石——白雲とものしずかな石。山林の情景を描写するによく用いられる。謝靈運の詩に「白雲 幽石を抱き、綠篠 清澗に媚ふ」(過始寧墅)と。また兼子詩にも「重巖に我卜居す、鳥道 人迹を絶つ、庭際 何のある所ぞ、白雲 幽石を抱く」などある。二 清歌妙舞——清らかな歌とたえなる舞。劉廷芝の詩に「公子王孫 芳樹の下、清歌妙舞す 落花の前(代悲白頭翁)とある。三 自適の天——おのが心にかなる天地。

静寂を好む者は、(山林に逃れて)、白雲や幽石に見入って玄妙な道にひたることを楽しむし、榮華にはしるものは、(はなやかな所に行つて)、清らかな歌やたえなる舞に見とれて飽きること知らない。ただ道を体得した人だけは、環境の騒がしさや静かさに関係せず、また時世の榮枯盛衰にも関係なく、いつでもどこへ身を置いて、わが心に適した自在の天地でないところはない。

今年イナテックは65周年、イナテック平湖は

50周年を迎えます。袁部長も「イナテック平湖を100年企業にするべく頑張ります」と言っています。

両社とも100年企業を目指して頑張ります。日中皆様のご協力をお願いいたします。

『いい会社をつくろう』

